

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |              |    |        |             |
|----------------|--------------|----|--------|-------------|
| ○事業所名          | アトリエ・キッズ高崎貝沢 |    |        |             |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 2月 20日 |    | ～      | 2025年 3月 3日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)       | 24 | (回答者数) | 19          |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 2月 20日 |    | ～      | 2025年 3月 3日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)       | 5名 | (回答者数) | 5名          |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月 12日 |    |        |             |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                                                               | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                                                        | さらに充実を図るための取組等                                                                         |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | スタッフの年齢層が若いため、活動的な内容の支援（公園での活動、イベントへの参加(SST実践練習)、BBQなど）も提供している。                                          | 地域で開かれているイベントに月に1回程度参加をしている。<br>公共の場でのマナーを実践的に学ぶこと、落とし物をした時やわからないことがあった時に適切な人に聞くこと、集合の時間や場所を守ってグループ行動をする練習など学年に応じて課題を設定している。 | 公共交通機関を使っでの移動練習も定期的の実施し、より自立した生活、自己決定と実現ができる生活を目指せるよう、サポートをしていきたい。                     |
| 2 | 幅広い学年のお子様利用しているため、低学年のお子様にとっては『近いところにお手本になる先輩がいる』環境になり、高学年のお子様にとっては自分より小さいお子様をサポートしたりお手本になる機会がある場になっている。 | ・活動の時、高学年のお子様にはスタッフのサポートやお手本役を担ってもらっている。<br>・班別行動やグループに分かれる時には、異年齢のお子様同士で組み合わせるようにしている。                                      | 帰りの会や誕生日会での司会・進行、片付けの時間の号令など、日々のなかで積極的にお子様に携わってもらうことで、場面に応じた行動が自発的にとれることにも繋げていきたい。     |
| 3 | 支援スタッフ全員が保育士・社会福祉士などの有資格者であり、人員配置基準に余裕をもった人数の配置ができています。                                                  | 月に1度は社内研修を実施し、専門性を高めることに努めている。社内研修に加え、講演会や外部の研修も受けられる体制を整えている。                                                               | 経験年数が浅いスタッフが多いことからOJTの機会を設けて、より実践的にスキルを高めることを目指したり、日々、支援の方法が適切だったかを振り返ることで支援力を高めていきたい。 |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること                 | 事業所として考えている課題の要因等                                                                  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                               |
|---|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 1 | 事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応に関するマニュアルがあること、避難訓練などの実施状況が十分に周知されていない。 | 定期的にマニュアルに目を通すことをしていなかったため、内容の理解が不十分になった。結果として、訓練を実施しても『周知することの必要性に意識が向かなかった』と考える。 | 定期的に各マニュアルの読み合わせを行う。事業所の防犯が十分にされているか、緊急時の対応をどうするか、課題はないか定期的に検討をする。 |
| 2 | 地域との交流が少ない                                                 | 地域住民や周辺の放課後等デイサービス、児童館との繋がりをもつことができていない。                                           | 将来は地域で暮らしていくことを念頭におきながら、安心・安全を確保したうえでどのように地域のなかに関わっていくのかを検討していきたい。 |
| 3 | 保護者様・ごきょうだいへの情報提供や支援が不十分。                                  | 保護者様を対象にした研修や公演の情報やごきょうだいのサポートグループの情報は相談頂いた時のみ提供すれば良いと考え、全体に周知をしていなかった。            | 講演会やサポートイベントの情報があつた時には、積極的に保護者様にもお知らせしていく。                         |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アトリエ・キッズ高崎貝沢

公表日 2025年3月12日

利用児童数 24

回収数 19

|                      |    | チェック項目                                                                                                                              | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見                                                                       | ご意見を踏まえた対応                                                      |
|----------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------|-----|-------|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 環境・<br>体制<br>整備      | 1  | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。                                                                                                      | 17 | 2             |     |       | 学習・遊びとスペースがわかれており<br>集中できる                                                | 引き続きお子様が集中できる環境、気持ちや活動をスムーズに切り替えられる環境づくりに努めます。                  |
|                      | 2  | 職員の配置数は適切であると思いますか。                                                                                                                 | 16 |               |     | 3     | 何名配置されているのかわからない                                                          | 人事異動などで配置に変化があった時には保護者様にもお伝えし、その都度スタッフが何名いるかわかりやすくなるよう工夫して参ります。 |
|                      | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。                                        | 17 | 1             |     | 1     | トイレに手すりを置くなど配慮されています                                                      | 今後もお子様が安全に過ごせるよう、必要な設備を整えて参ります。                                 |
|                      | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。                                                                     | 18 |               |     | 1     | 臨機応変に空間の使い方を対応して落ち着けるようにしてもらっています                                         | 引き続きお子様が安心・安全に過ごせるよう柔軟に対応することを心掛けて参ります。                         |
| 適切な<br>支援の<br>提供     | 5  | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。                                                                                    | 19 |               |     |       | ・リハビリで行っていることも取り入れてくれている。<br>・その時にあった内容設定になっている。学年や状況に応じて最大限取れる対応を考えていると感 | 引き続き、ご家庭での様子や保護者様の意向を伺いながら支援内容や方法を検討して参りますので、よろしくお願いいたします。      |
|                      | 6  | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。                                                                                        | 19 |               |     |       |                                                                           |                                                                 |
|                      | 7  | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。                                                         | 19 |               |     |       | 個別性にあった計画です。                                                              | 今後もそれぞれのお子様にあった計画を作成して参ります。                                     |
|                      | 8  | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 18 |               |     | 1     |                                                                           |                                                                 |
|                      | 9  | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。                                                                                                    | 19 |               |     |       |                                                                           |                                                                 |
|                      | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。                                                                                                 | 19 |               |     |       | 外出・買い物・工作など、色々な経験ができています。                                                 | 引き続き、様々な体験ができるよう機会を設けて参ります。                                     |
|                      | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。                                                                                            | 6  | 3             | 4   | 6     | 利用が少ないためあまり聞かない                                                           | 地域交流はほとんどできていない状態かと思います。どのような方法で交流が可能か検討して参ります。                 |
| 保護者<br>への<br>説明<br>等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。                                                                                     | 18 | 1             |     |       |                                                                           |                                                                 |
|                      | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。                                                                                               | 19 |               |     |       |                                                                           |                                                                 |
|                      | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。                                                                | 8  | 1             | 5   | 5     |                                                                           |                                                                 |
|                      | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。                                                                                | 18 | 1             |     |       | 面談以外にも相談にのって頂いている                                                         | 今後も面談以外でもお子様の様子を共有していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。                |
|                      | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。                                                                                                     | 19 |               |     |       |                                                                           |                                                                 |
|                      | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。                                                                                                         | 19 |               |     |       |                                                                           |                                                                 |
|                      | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。          | 3  | 4             | 6   | 6     |                                                                           |                                                                 |

|         |    |                                                                                                      |    |   |  |   |                                      |                                                      |
|---------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|--|---|--------------------------------------|------------------------------------------------------|
|         | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 16 |   |  | 3 | トラブルだけでなく受検対策などについても考えて頂きありがたいです     | 今後もお子様ご自身の希望することや保護者様からご要望を、可能な限り支援に取り入れていけたと考えます。   |
|         | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。                                                              | 17 |   |  | 2 |                                      |                                                      |
|         | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。                           | 15 |   |  | 4 |                                      |                                                      |
|         | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。                                                                           | 15 |   |  | 4 |                                      |                                                      |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。         | 13 |   |  | 6 |                                      |                                                      |
|         | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。                                                         | 12 | 1 |  | 7 | 利用日が少ないためわかりません                      | 訓練実施後は、月のおたよりで報告をするなど参加しなかったご家庭にも実施状況がわかるよう工夫して参ります。 |
|         | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。                                     | 17 |   |  | 2 |                                      |                                                      |
|         | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。                                      | 16 |   |  | 3 | いつも細かいところまで説明があり安心感があります。            | 引き続き速やかなご連絡を心掛けて参ります。                                |
| 満足度     | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。                                                                                 | 18 |   |  | 1 | 親子ともに安心しています                         | 今後も、安心して通って頂けるよう努めて参ります。                             |
|         | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。                                                                                   | 17 |   |  | 2 | ・活動内容も楽しく居心地も良いそうです<br>・とても楽しみにしています | 今後も楽しかった、嬉しいことがあったと感じて頂けるよう、支援内容を計画して参ります。           |
|         | 29 | 事業所の支援に満足していますか。                                                                                     | 17 |   |  | 2 | ・全ての先生が優しく熱心です<br>・安心してお任せしています。     | 今後ともよろしくお願いいたします。                                    |

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 アトリエ・キッズ高崎貝沢

公表日 2025年3月12日

|         |    | チェック項目                                                                                                                                               | はい | いいえ | 工夫している点                                                                               | 課題や改善すべき点                      |
|---------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                                         | 6  |     |                                                                                       |                                |
|         | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。                                                                                                                     | 6  |     |                                                                                       |                                |
|         | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                                | 5  | 1   | 床にある段差が目立つようビニールテープを貼って色を変える、置くタイプの手すり、小児用の机・椅子を用意するなどで対応している。                        |                                |
|         | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                                | 6  |     | 活動内容によってパーテーションやカーテンなど追加することで、活動に集中できるようにしている。                                        |                                |
|         | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                                           | 6  |     |                                                                                       |                                |
| 業務改善    | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。                                                                                                       | 6  |     |                                                                                       |                                |
|         | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                 | 5  | 1   |                                                                                       |                                |
|         | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                               | 6  |     | 毎朝、全体ミーティングを設けることで各々の意見や感じ方を確認、共有できるようにしている。                                          |                                |
|         | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                                     | 4  | 2   |                                                                                       |                                |
|         | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                                    | 6  |     | 全てのスタッフが月に1度は研修を受けている。また、動画研修を受けられるシステムを導入したことで、各々のスタッフが興味がある内容の研修をいつでも受講できるようになっている。 |                                |
| 適切な支援   | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                              | 4  | 2   |                                                                                       | 公表については3月中にすることになっているため対応していく。 |
|         | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。                                                                               | 6  |     |                                                                                       |                                |
|         | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                                 | 6  |     |                                                                                       |                                |
|         | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                              | 6  |     |                                                                                       |                                |
|         | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                                  | 3  | 3   | 標準化されたツールは十分に活用されていないと考える。                                                            |                                |
|         | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6  |     |                                                                                       |                                |
|         | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                               | 5  | 1   |                                                                                       |                                |

|                                                          |    |                                                                                    |   |   |                                                                 |                                                                   |
|----------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 援<br>の<br>提<br>供                                         | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                           | 4 | 2 | 利用するお子様の学年や課題、興味のあることに応じて毎日にプログラムを検討している。                       |                                                                   |
|                                                          | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                          | 6 |   |                                                                 |                                                                   |
|                                                          | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | 6 |   |                                                                 |                                                                   |
|                                                          | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | 6 |   |                                                                 |                                                                   |
|                                                          | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                             | 6 |   | 過去にヒヤリハットが上がった活動内容、活動場所の時には当時の状況を全体で振り返り、それを踏まえて計画を立てるようにしている。  |                                                                   |
|                                                          | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | 5 | 1 | お子様の変化に合わせ、実施期間中であっても臨機応変に更新している。                               |                                                                   |
|                                                          | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。                                      | 6 |   |                                                                 |                                                                   |
|                                                          | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | 6 |   | 筆談、パソコン入力、絵カード、スマートフォンの活用などそれぞれのお子様意思を表出しやすい方法を取り入れている。         |                                                                   |
| 関<br>係<br>機<br>関<br>や<br>保<br>護<br>者<br>と<br>の<br>連<br>携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | 6 |   |                                                                 |                                                                   |
|                                                          | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | 6 |   |                                                                 |                                                                   |
|                                                          | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | 6 |   | 学校で待機して頂きたい場合には事前に学校に連絡をしている。必要に応じて担任の先生と情報交換をする時間を設定して頂いている。   |                                                                   |
|                                                          | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | 3 | 3 |                                                                 | 児童発達とは情報共有がしやすいが、保育園、幼稚園、認定こども園とコンタクトを取り、連携することに難しさや課題を感じることがあった。 |
|                                                          | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | 4 | 2 |                                                                 |                                                                   |
|                                                          | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | 1 | 5 |                                                                 |                                                                   |
|                                                          | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。                                             |   | 6 |                                                                 | 地域のお子様と交流する機会がないため、繋がりを作っていきたい。                                   |
|                                                          | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。                                                            |   | 6 |                                                                 |                                                                   |
|                                                          | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | 6 |   |                                                                 |                                                                   |
|                                                          | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。       | 2 | 4 |                                                                 | 研修の情報や地域にあるサポート制度について、情報発信の仕方を検討していく。                             |
|                                                          | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                               | 6 |   |                                                                 |                                                                   |
|                                                          | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 |   | “本人の役割”の欄ではそれぞれのお子様を理解できるような表記・表現にすることを心がけ、お子様の意向を受け取れるようにしている。 |                                                                   |
|                                                          | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | 6 |   |                                                                 |                                                                   |

|          |    |                                                                                            |   |   |                                                                    |                                                                |
|----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                              | 6 |   |                                                                    |                                                                |
|          | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 2 | 4 | 長期休み期間中に"親子レク"を企画することで、保護者様同士が顔を合わせられる場を設けた。継続していきたいと考えている。        | コロナ禍を経て保護者会を経験したスタッフがいない状態になってしまったため、開催の方法については新たに検討していく必要がある。 |
|          | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 6 |   |                                                                    |                                                                |
|          | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 6 |   | インスタグラムは毎日更新することで、その日ごとにどのような活動をしたかがわかるようにしている。                    |                                                                |
|          | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | 6 |   |                                                                    |                                                                |
|          | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | 6 |   | 電話連絡かSNSでの連絡かを使い分けている。必要に応じてメモをお渡しし、連絡した内容に食い違いや行き違いがおこらないようにしている。 |                                                                |
|          | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      |   | 6 |                                                                    | 地域との繋がりが全くない状態であることから、どのように進めていくかを検討する必要がある。                   |
| 非常時等の対応  | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 6 |   |                                                                    |                                                                |
|          | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 5 | 1 | 年2～3回の避難訓練、防犯訓練を行っている。警察や警備会社の防犯教室も利用している。                         | BCPについては、不知のスタッフもいることから、定期的に全体で内容を確認する。                        |
|          | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                        | 6 |   | 昼食を提供するにあたり、春、夏、冬休み前にはアレルギー調査を実施している。                              |                                                                |
|          | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                                     | 6 |   |                                                                    |                                                                |
|          | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 5 | 1 |                                                                    |                                                                |
|          | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 5 | 1 |                                                                    |                                                                |
|          | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                                    | 6 |   |                                                                    |                                                                |
|          | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                                       | 6 |   |                                                                    |                                                                |
|          | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。           | 6 |   |                                                                    |                                                                |